

## 事業評価書

補助事業名	交通施設：道路維持補修車購入事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市堅倉地内				
補助事業の成果の目標	<p>当市では市道認定道路約1,536kmの他、認定外道路及び流末排水路の管理を行っている。道路・水路の補修要望は年々増加傾向にあり、事故防止ため早急に補修を行う必要がある。道路・水路施設の安定的な維持管理を行い、市民の道路交通上の安全と生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】 年間補修等要望件数 令和2年度 767件 令和3年度 1,030件 令和4年度 1,078件 令和5年度 1,002件</p>				
補助事業の内容	ミニバックホウ 1台購入				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和8年度				
事業費及び交付金額		令和4年度以前	令和5年度	令和6年度以降	計
	事業費	8,302,393 円	4,015,000 円	16,117,000 円	28,434,393 円
	交付金額	7,800,000 円	3,800,000 円	12,200,000 円	23,800,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 本車両の購入により、木枝・篠竹等が繁茂する管理不全の土地に接する現場や排水施設の機能不全に係る浚渫等を伴う現場対応の幅が広がり、作業効率が大きく上昇した。このことから道路施設の適切な維持管理により、市民の道路交通上の安全対策と道路等に関する市民の要望に迅速な対応の向上ができた。引続き、支援体制の整備を図るものとする。</p> <p>「道路維持補修車稼働状況」 令和5年度 ミニバックホウ1台購入 ・型式Vi020-6 機体番号67431 (2/16から11/30まで) 業務日数195日のうち稼働日数166日 85.1%</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①車体にステッカーで明記 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	現在、市が保有している道路維持補修車について、計画的な整備更新により安全な道路環境の維持に務める。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：健康増進施設駐車場整備(駐車場広場整備工事)				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市上吉影地内				
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、平成31年4月から指定管理制を導入して以降、施設駐車場と芝生広場を利用し、市民が中心となる事業イベントの開催を通じて市民の健康増進に寄与するなど、市民に愛される施設とすべく努めているところ。</p> <p>指定管理者による運営となって以降は、地元で愛される健康増進施設であること、子供が遊べる施設であること、健康増進を中心とした施設の三点をコンセプトに、市直営では開催されなかったイベントの開催が増加し市内外を問わずマイカーを利用して来館される利用者が増加傾向であることから、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、事業イベント開催時に駐車場としても利活用できる広場を整備することで、施設利用者の更なる利便性の向上を図るもの。</p> <p>【参考指標】施設利用者 80,420人 (令和5年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	駐車場広場整備工事 舗装等4,051㎡				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和5年度				
事業費及び交付金額 ※( )は総事業費		令和4年度 以 前	令和5年度	令和6年度 以 降	計
	事業費	円 135,211,840	円 59,789,000 (63,830,800)	円	円 195,000,840 (199,042,640)
	交付金額	106,300,000	55,000,000		161,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当施設の利用者へアンケート調査を実施したところ、「駐車場広場が整備されて便利になった」などの声や「良かった」73.3%などの回答が得られており、また整備後の当施設利用者も増加していることから、利用者の利便性の向上が図られ、目標を達成したと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事完了後市ホームページに掲載した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設：225号線（小204号線）外1				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市野田地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、野田地区の住民が小学校や市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、災害時には小美玉市医療センターや消防本部と当地区を結ぶ非常に重要な道路となる。</p> <p>しかし、現道が狭隘なため、車両同士のすれ違いが困難な状況にあり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>これらを改善するため、現道の拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（野田地内）人口／世帯数：2,195人／982世帯 （令和6年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	道路改良舗装工事 W=3.0m L=214m				
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度 以前	令和6年度	令和7年度以降	計
	事業費	円 108,385,434	円 25,784,000	円 0	円 134,169,434
	交付金額	円 99,700,000	円 25,300,000	円 0	円 125,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 全線供用開始後、地元区長や周辺住民に対し、整備効果について意見を聴取した。 ・道路側溝が整備され慢性的な水溜まりが解消した。 ・見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになった。 ・道路が広がり車両のすれ違いや緊急車両の通行が容易となり安心した。 ・地区コミュニティセンターへのアクセスが容易になった。 など、道路整備により交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上に関し、一定の評価を得た。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業が防衛省交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知した ②工事期間中、工事看板に記載した</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	環境衛生施設:街頭防犯カメラ整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市内				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、自治会・町内会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化してきている。これまで、自治会等は、地域の防犯や見守りなど様々な活動を支えてきたが、犯罪や事故に対する地域防犯機能が低下し、犯罪や事故に対する不安が高まっている。</p> <p>このことから、犯罪の抑止及び事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するものである。</p>				
補助事業の内容	街頭防犯カメラ整備 5基				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降	計
	事業費	円 6,534,000	円 3,927,000	円 0	円 10,461,000
	交付金額	円 5,800,000	円 3,000,000	円 0	円 8,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 当施設は、6年度で工事が完了し供用を開始した。地域の代表者や学校長などに対して意見を聴取したところ、防犯カメラが設置されたことにより、犯罪抑止や事件・事故の早期解決につながると感じる等の回答があった。</p> <p>市の境や人通り、交通量の多い道路において同施設の設置を行ったことにより、区の代表者から「カメラによる抑止力があり、安心して生活ができている。」旨の回答をいただいた。さらに警察によるカメラの映像を用いた有益な犯罪捜査につながったとの意見があった。このことから本事業にあっては、良好に実施できたとされる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯カメラ設置標識に補助事業名記載 ②市ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設：小川文化センター舞台用備品購入				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市小川225番地（小美玉市小川文化センター）				
補助事業の成果の目標	<p>小川文化センターは昭和57年に開館して以来、42年が経過し、年間約4万人が利用している。大ホールは1,081席を備えており、芸能、文化イベント、発表会、練習、式典行事等幅広く利用されている。</p> <p>現在、大ホールで使用している演奏者用椅子は購入後15年が経過し、老朽化による部品の脱落等の不具合が多発し、利用者に不便をきたしている状況である。</p> <p>については、演奏者用椅子を新たに整備し、利用者が安心して快適に利用できるようにするとともに舞台環境の向上及び文化の振興と地域の活性化を図る。</p> <p><b>【参考指数】</b></p> <p>令和3年度 施設利用者数 30,007人 <b>【新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限有】</b></p> <p>令和4年度 施設利用者数 44,978人 <b>【新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限有】</b></p> <p>令和5年度 施設利用者数 37,503人</p>				
補助事業の内容	舞台用備品購入				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業費	0円	4,175,600円	0円	4,175,600円
	交付金額	0円	4,000,000円	0円	4,000,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>吹奏楽の練習で利用した中学生、高校生及び指導者に意見を聴取したところ、新たに購入した舞台用備品（演奏者用椅子）は「座り心地が良い」、「安心して演奏できる」など、安全に利用できる舞台環境の確保が図れたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>①館内及び備品に掲示 ②広報誌に掲載 ③令和7年5月頃に市ホームページに掲載予定</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防ポンプ自動車購入				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市与沢733番地1(小美玉市消防団第12分団機庫)				
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市管内における消防団は、第1中隊から第3中隊で構成されており、今回更新する車両は第2中隊の第12分団車両である。平成24年1月に本市小川地区で発生した住宅火災では建物10棟全焼、4棟が部分焼、死傷者1名の被害となり、消防車両20台が出場した。平成31年2月には大規模鶏舎の火災において建物約10000㎡焼損、鶏約690000羽を焼失する火災が発生し消防車両25台が出場した。また、令和5年6月の台風2号において市内全域で河川の氾濫、道路冠水が発生し床上浸水2件、床下浸水7件の被害が生じるなど多数の消防車両を必要とする災害が発生している。このような大規模火災や水害、多種多様化する災害に対応するため、最新の消防車両を万全の状態で配備することで地域消防力の維持、強化及び安定を図る。</p> <p>【参考指標(年)】※小美玉市内(旧小川地区)火災 [R3]7件 [R4]8件 [R5]19件 分団の出動回数 [R3]3回 [R4]2回 [R5]6回</p>				
補助事業の内容	消防ポンプ自動車購入				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 30,800,000	円 0	円 30,800,000
	交付金額	円 0	円 27,750,000	円 0	円 27,750,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 第12分団の消防ポンプ自動車を更新し、地域住民の代表として管轄する地区(与沢、与沢百里、倉数川前、倉数川向)の区長へアンケートを実施しました。アンケートの結果、防衛省補助を喜ばしいことと感じており、今回消防ポンプ自動車が更新されたことで安心・安全な生活環境が整ったとの回答がありました。市としても地域防災の要である消防団に最新の車両が配備されることで、地域の消防力が向上したと感じています。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 車両に「R6防衛省補助」のステッカーを貼付。市のホームページ、広報誌(回覧板、市有施設にて配布)に防衛省補助を使用して消防団車両を更新した旨を掲載し、多くの市民に防衛省補助によって消防車両を更新したことを周知することができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業：小美玉市公共用バス整備基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の一助として市が所有する公共用バスを利用する事業等を行う各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過しており、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、また安全対策の面からも懸念される状況である。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境の確保を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 令和5年度公共用バス利用団体／利用日数 延べ288団体／延べ375日</p>									
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成25年度から令和5年度 基金の処分：平成26年度から令和9年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000		
	26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000	
	27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,246	
	28	9,680,000				9,680,000	1,309,000	35,617,000	1,309,674	
	29	6,000,000				6,000,000	2,550,000	39,067,000	2,557,885	
	30	6,000,000				6,000,000	780,000	44,287,000	784,624	
	元	6,000,000				6,000,000	30,471,000	19,816,000	30,471,991	
2	6,000,000				6,000,000	747,000	25,069,000	747,919		
3	6,000,000				6,000,000	9,379,000	21,690,000	9,379,703		
4	6,000,000				6,000,000	469,000	27,221,000	469,045		
5	6,000,000				6,000,000	530,000	32,691,000	530,986		
6					0	31,260,000	1,431,000	31,262,919		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>利用対象である各種団体の公共用バス活用において、コロナ禍の影響により利用が大幅に減少していたが、令和5年5月から5類に指定されたことによりコロナ禍前と同等の利用状況に回復した。</p> <p>利用団体にアンケート等の調査を行った結果「車内がきれい、快適に利用できた」「時間内に余裕をもって到着できた」「安心して目的地まで行けた」等の声が挙がっており、多くの団体が「次回も利用したい」と好評である。</p> <p>このことから当事業により、円滑な社会福祉活動の一助として支援ができる環境を確保できたものと考えます。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示          ②市のホームページに掲載          ③更新バスを市の広報紙に掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市教育活動支援基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市では、市内全小学校5年生対象に、10月に1泊2日の自然教室を行っている。その児童の移動手段として、その都度民間バスを借上げることにより、移動手段を確保しているところである。</p> <p>このような教育活動は、人や自然とのふれあいを通し、児童の豊かな心と健康の増進、自然愛護の心を培うために必要であり、児童の安定かつ円滑に教育活動に参加できる環境の確保を図る。</p>									
補助事業の内容	<p>自然教室移動への民間バス借上げ</p> <p>【参考】 令和6年度の上記バス借上げの台数/利用人数: 大型12台/337人</p>									
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成27年度 基金の処分:平成28年度から令和7年度</p>									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	27	30,000,000				30,000,000	0	30,000,000	0	0
	28	0				0	4,680,000	25,320,000	4,681,260	
	29	0				0	4,040,000	21,280,000	4,040,855	
	30	0				0	4,764,000	16,516,000	4,764,537	
	元	0				0	3,289,000	13,227,000	3,289,348	
	2	0				0	0	13,227,000	0	
	3	0				0	0	13,227,000	0	
4	0				0	0	13,227,000	0		
5	0				0	1,278,000	11,949,000	1,278,200		
6	0				0	1,738,000	10,211,000	1,739,278		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 各学校の教職員等にアンケートを実施したところ、7校全てから、バスを借上げることで児童が教育活動に参加できる環境が確保できているとの回答があったため目標は達成したと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 保護者案内通知文、学校だより、市ホームページで防衛省の交付金を活用している旨掲載した。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

## 事業評価価値書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市情報教育支援基金										
補助事業者名	小美玉市長										
実施場所	小美玉市内小学校及び中学校										
補助事業の成果の目標	<p>当市の小中学校では、優先的に整備すべきICT環境整備について「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき整備を行ってきた。</p> <p>現在、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっている中で、1人1台端末の整備を行い、普通教室での活用や個別学習、グループごとの発表等協働学習等に活用している。</p> <p>小中学校のICT環境の授業活用の機会を促進し、特別教室や校外での学習等にも取り入れることで、一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指数】児童・生徒数:3,324人 (R6. 5. 1現在)</p> <p>小川南小 339人、竹原小 187人、羽鳥小 495人、堅倉小 209人、納場小 288人、玉里学園義務教育学校(前期課程) 342人、小川北義務教育学校(前期課程) 284人、小川南中 237人、美野里中 612人、玉里学園義務教育学校(後期課程) 170人、小川北義務教育学校(後期課程) 161人</p>										
補助事業の内容	情報機器の更新、新規整備、リース継続										
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和9年度										
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計					
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	60,004,000	0	0	0	60,004,000	0	60,004,000	0	0	
	R1	60,000,000	0	0	0	60,000,000	40,521,000	79,483,000	44,852,095		
	R2	92,487,000	0	0	0	92,487,000	52,344,000	119,626,000	56,676,112		
	R3	60,000,000	0	0	0	60,000,000	36,056,000	143,570,000	73,797,753		
	R4	99,890,000	0	0	0	99,890,000	44,364,000	199,096,000	95,639,027		
R5	67,354,000	0	0	0	67,354,000	39,857,000	226,593,000	66,944,328			
R6	60,000,000	0	0	0	60,000,000	52,557,000	234,036,000	68,742,818			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>各学校の教職員、児童生徒に「児童生徒のICT活用に関するアンケート」を実施したところ、「パソコンやタブレットを使うことが楽しい」と感じる児童生徒が94.5%、「パソコンやタブレットを活用した授業を受けたい」と考える児童生徒が94.0%おり、ICT活用にかかる充実感を9割以上の児童生徒が得ているため、目標は達成したと評価する。</p> <p>活用される教科は、「算数/数学」が最も多い結果となり、反対に、活用が難しいとされる教科は、「国語」、「図工」という結果になった。</p> <p>活用実績は、通常授業のほか、屋外授業や社会科見学が挙げられる。プロジェクトを用いた授業では、教材を拡大表示して説明するなど「わかりやすい授業」に貢献している。</p> <p>今後の展望として、児童生徒が活用に対して意欲を示していることから、子どもたちが効果的な学習を進められるよう教職員と連携を図りながら、さらなる活用率向上を推進する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校だよりに掲載し、保護者及び地区住民へ周知</li> <li>2. 市ホームページ等で掲示</li> </ol>										
事業の改善措置及び今後の対応	無										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無										

## 事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市山野1628-44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	<p>空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして今年度10周年を迎え、令和6年度の来場者は404,000人、のべ5,102,000人となっている。</p> <p>地場製品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <p>令和3年度 来場者数 390,700人  令和4年度 来場者数 450,700人  令和5年度 来場者数 470,800人</p>								
補助事業の内容	小美玉市地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000				50,000,000		50,000,000	
	R1	41,043,000				41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635
	R2	62,074,000				62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436
	R3	33,994,000				33,994,000	30,000,000	117,877,000	33,078,600
	R4	50,000,000				50,000,000	30,000,000	137,877,000	35,687,774
R5	50,000,000				50,000,000	31,654,000	156,223,000	34,212,502	
R6	0				0	41,000,000	115,223,000	41,881,600	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>令和6年度の「そ・ら・ら」の来場者数及び全体の売り上げは令和5年度と比較し、令和6年度当初から毎週火曜を定休日に設けたことにより、共に約86%と減少になっているが、来場者のアンケートでは8割以上の方から「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は概ね達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲示  ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:文化施設等維持管理運営等事業基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市小川225(小川文化センター)									
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は文化ホールとして3つの施設があり、その中で小川文化センターは、昭和57年に開館して以来、42年が経過し、年間約6万人が利用している。</p> <p>大ホールは1,081席を備えており、芸能、文化イベントや学園発表会、式典行事が行われ、小ホールや会議室は文化行事や会議など幅広く利用されている。</p> <p>交付金を活用し、保守点検等を始め施設の維持管理を適切に行うことで、文化施設の利用者が安心して快適に利用できるようにし、またこの施設を利用したくなるようにすることで、文化の振興と地域の活性化を図る。</p> <p><b>【参考指数】</b></p> <p>令和3年度 施設利用者数 30,007人  <b>【新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】</b></p> <p>令和4年度 施設利用者数 44,978人  <b>【新型コロナウイルス感染対策のため利用制限有】</b></p> <p>令和5年度 施設利用者数 37,503人</p>									
補助事業の内容	小美玉市文化施設等の維持管理及び運営等に係る事業									
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 令和2年度から令和11年度 基金の処分: 令和3年度から令和12年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計				
	令和	円	円	円	円	円	円	円	円	
	2	83,000,000	0	0	0	83,000,000	0	83,000,000	0	
	3	23,430,000	0	0	0	23,430,000	15,982,000	90,448,000	15,982,742	
	4	50,000,000	0	0	0	50,000,000	24,741,000	115,707,000	26,343,085	
	5	50,000,000	0	0	0	50,000,000	26,000,000	139,707,000	26,599,146	
6	50,000,000	0	0	0	50,000,000	34,321,000	155,386,000	34,711,614		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>アンケートの結果、利用環境について「快適に施設・設備を利用できた」との回答が多く寄せられ、ご意見・ご要望等(自由記述)でも「築40年以上の建物とは思えないほど綺麗」、「館内が快適で素敵な時間を過ごすことができた」、「また来年も利用したい」等の肯定的な意見が寄せられた。</p> <p>上記の結果を受けて、本市としては交付申請時の目標が達成されたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施方法]</p> <p>市並びに施設ホームページへの掲載及び施設入口案内板への掲示により実施した。</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

事 業 評 価 事 書

補助事業名	教育文化施設:小美玉市図書館図書資料等整備基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市小川1664-2(小川図書館)、小美玉市高崎291-3(玉里図書館) 小美玉市堅倉835(美野里公民館図書室)								
補助事業の 成果の目標	<p>小美玉市図書館は市民の学習意欲を支援する施設として、新刊図書の購入及び貸出、県内図書館等との連携による貸出サービス等、地域住民の実情に即したきめ細かい奉仕作業により、親しみやすい図書館として広く利用されるよう図書資料の整備充実、サービス体制の強化を図り、市民の生活文化の向上に努める。</p> <p><b>【参考指数】</b>          令和3年度 来館者数 22,446人 資料購入数 4,729点 資料貸出数 95,715点          令和4年度 来館者数 35,706人 資料購入数 4,615点 資料貸出数 118,319点          令和5年度 来館者数 38,476人 資料購入数 4,532点 資料貸出数 124,196点</p>								
補助事業の内容	小美玉市図書館の図書資料等整備に係る事業								
補助事業の 始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和9年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に 要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
	R1	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 0	円 4,900,000	円 0
	R2	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 2,000,000	円 7,800,000	円 2,000,271
	R3	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 3,000,000	円 9,700,000	円 3,000,042
	R4	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 4,900,000	円 9,700,000	円 4,901,624
	R5	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 5,300,000	円 9,300,000	円 5,300,000
R6	円 4,900,000	円 0	円 0	円 0	円 4,900,000	円 6,000,000	円 8,200,000	円 7,999,774	
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]          来館者数・貸出点数とも、一昨年5月に新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類へ移行後、回復傾向にあったが、昨年度はコロナ明けの反動があったためか、利用者数の落ち込みがあった。</p> <p>利用者アンケートにおいて「図書館の満足度」に関する各質問項目への回答のうち、「普通」以上の回答が9割近くを占めており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]          ①市図書館ホームページに掲載          ②市広報紙(図書館だより)に掲載          ③市図書館内に掲示          ④図書資料奥付にスタンプ印を押印</p>								
事業の改善措置及び 今後の対応	無								
事業の評価に際しての 第三者機関の活用の 有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設:小美玉市行政区集会施設管理基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市下吉影荒地区・下吉影本田区・幡谷区・上合区・前野区・下吉影宿区・田中台区・与沢区・山野区・与沢百里区・下吉影南原区・山野台住宅								
補助事業の成果の目標	<p>小美玉市は行政区ごとに集会施設があり、地域住民の福祉の向上及び交流の場として、総会や役員会などの会合、敬老会などの催事などに利用し、コミュニティ活動の拠点として活用されている。</p> <p>しかし、集会施設の老朽化やバリアフリー化に対応するための整備等、今後ますます集会施設の修繕等の需要が増加することが予想される。</p> <p>そのため、交付金を活用し、集会施設の管理等を適切に行い、利用者が安心して快適に利用できる環境整備を行うことにより、地域住民のコミュニティの活性化を図る。</p> <p><b>【参考指数】</b>  令和4年度 行政区世帯数 11,449世帯  令和5年度 行政区世帯数 11,268世帯</p>								
補助事業の内容	小美玉市行政区集会施設の管理等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和5年度から令和14年度 基金の処分:令和5年度から令和18年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				
		円	円	円	円	円	円	円	円
R5	10,000,000	0	0	0	10,000,000	2,213,000	7,787,000	3,268,000	
R6	4,900,000	0	0	0	4,900,000	8,006,000	4,681,000	8,011,509	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  小美玉市行政区集会施設11カ所の修繕と1カ所の備品購入による整備が完了した。集会施設の利用代表者を対象に、意見聴取を行い、行政区集会施設が修繕や備品購入により、利用者が安心して快適に利用できるように整備されたとの声が上がっており、事業の成果が認められた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  地区回覧、修繕箇所に交付金活用の表示。また、市ホームページに掲載し、多くの市民に防衛交付金による整備事業であることを周知することができた。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								